



資料2

ユニバーサル未来社会推進
協議会(第8回)
令和3年6月1日

TOKYO 2020

東京2020ロボットプロジェクトについて

東京2020組織委員会 平田 英世 イノベーション推進室長

2021年6月1日

東京2020大会ビジョン

スポーツには、世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。

2020年の東京大会は

すべての人が自己ベストを目指し (全員が自己ベスト)

一人ひとりが互いを認め合い (多様性と調和)

そして、未来につなげよう (未来への継承)

を3つの基本コンセプトとし、**史上最もイノベーティブで**
世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

平昌2018冬季大会 ロボットの取組



■ 会場内

案内ロボット 写真撮影用ロボット

魚型ロボット

写真は本会議中のみ

■ メインプレスセンター

掃除ロボット 飲料配布ロボット

■ 会場外

スキー競技大会 空港での案内ロボット

プロジェクトの推移

2018年

2019年

2020年

2021年

検討フェーズ

- ✓ PJ 検討開始
- ✓ コンセプト検討

具現化フェーズ

- ✓ PJ・コンセプト発表
- ✓ 企画の一部発表・具体化

実行フェーズ

- ✓ 大会延期・コロナ禍を踏まえた修正
- ✓ 運用テストの実施

大会本番



プロジェクトメンバー



※契約カテゴリー

パナソニック：＜パラリンピック＞パワーアシストスーツ

トヨタ自動車：＜オリンピック＞モビリティサポートロボット、＜パラリンピック＞モビリティサポートロボット、リハビリテーションロボット、ウェアブルロボット

コンセプト

<2019年発表>

- 世界中の人々が注目する東京2020大会開催中に、ロボットが様々な場面で人々に寄り添い、役に立つ姿を発信する
- 大会を契機としてロボットの社会実装を推進することにより、日本と世界にポジティブな未来を提示する

+

<2021年以降>

- コロナ禍の中で、ロボットの利活用により、安全・安心かつ持続可能な大会運営ができることを世界に示す

大会で活用するロボット (2021年5月時点)



生活支援ロボットに観戦サポート



マスコット型ロボット



パワーアシストスーツを活用した運営支援



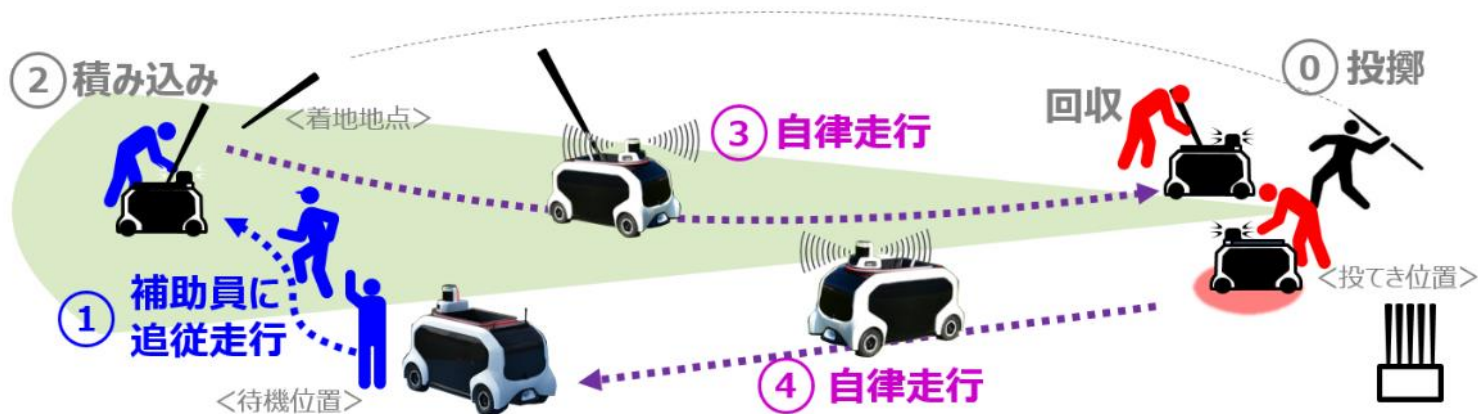
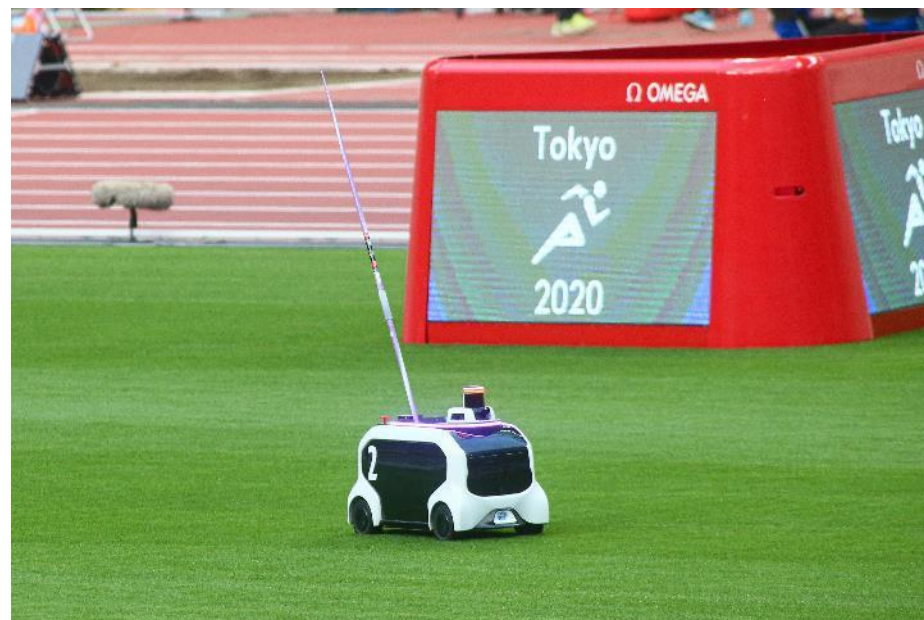
フィールド競技サポートロボット



直近の実施状況① (5/9・11 陸上テストイベント)



■ フィールド競技サポートロボット



直近の実施状況② (5/9 陸上テストイベント)



■ 競技運営支援を行うパワーアシストスーツ

写真は本会議中のみ

大会を契機とした情報発信の連携

■ 大会公式HPを活用した情報発信



- ✓ 大会期間中に実施されるプロジェクトメンバーの取組について大会公式HPに情報を掲載

■ 大会取材する国内外メディアへの情報発信 等



- ✓ メインプレスセンターを東京ビッグサイトに設置
- ✓ 国内外メディアへロボットの取組をアピール